

一世代をつなぐ、地域をつなぐ、やんばるの自然を未来につなぐ

# やんばる次世代プロジェクト



## 背景と現状

「やんばるの子どもたちは、やんばるの自然で遊んでいない」

「このままいくと、やんばるの先人の知恵や文化、ひいては自然が失われかねない」…

そんな現状を見つめたとき、足元を知ることから始まる「人材育成」「環境保全」「地域活性化」を目指して、本プロジェクトが生まれました。

## 実施概要

本プロジェクトは、子どもたちの生まれ島やんばるへの愛着を深め、感性を磨き、創意工夫・問題解決能力を育むことを目的とし、長期的には、横（中学生同士）、縦（中学生、辺土名高校生、大人たち）、地域（やんばる3村）のつながりを強化し、ゆるやかな連携による地域力の涵養を目指します。

その一環として、今年度は、3村の中学生が、沖縄県立辺土名高校生と3村の大人たちサポートのもと2泊3日の体験学習を行う「やんばるヤマ学校キャンプ」が実施されました。

## やんばるヤマ学校キャンプ

### ヤマ学校キャンプ実施のイメージ

#### ①実施期間

2012年12月21日（金）～23日（日）

#### ②実施場所

やんばる学びの森（国頭村）

#### ③参加者

大宜味村立大宜味中学校、  
国頭村立国頭中学校、  
東村立有銘中学校、東村立東小中学校の  
1年生、2年生、3年生33名

#### ④サポート

沖縄県立辺土名高校生13名

#### ⑤運営体制

主催：やんばる次世代プロジェクト実行委員会

会長 宮城功光（大宜味中PTA会長）

委員 渡口直樹（国頭中PTA会長）、大畑健次（東小中PTA会長）、大城ゆかり（辺土名高PTA会長）

協力：山川安雄（国頭ツーリズム協会代表理事）、宮城健隆（おおぎみまるとツーリズム協会会長）

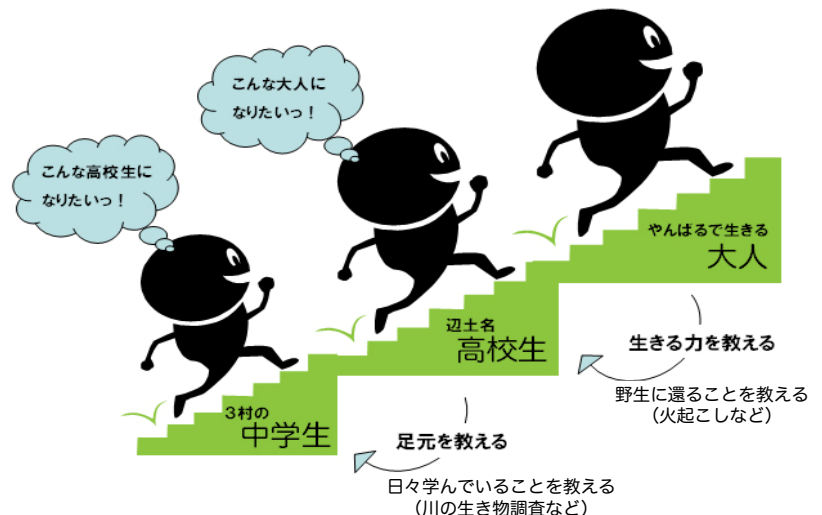
港川寛登（東村観光推進協議会理事長）

後援：国頭村役場、大宜味村役場、東村役場

国頭村教育委員会、大宜味村教育委員会、東村教育委員会

事務局：株式会社カルティベート

特別協賛：日本エコツーリズム協会



# ヤマ学校キャンプ実施の様子



## 野生に還る3日間

3日間、高校生がリーダーを務めた班で行動。自分達でテントをたて、火を起し、食事を作りました。



## 床川での河川調査

辺土名高校の生徒が学んでいることを体験！高校生が中学生に、調査の手法を教える光景がみられました。



## 夜空に校歌が響いた交流会

高校生が企画した交流会では、中学生、高校生、大人が共に3村中学校の校歌を大声で歌いあう場面も。

## 宣言文

最初は悩み格闘しながら、中学生を引っ張っていた高校生たち。…しかし最終日にもなると、すっかり頼もしいお兄さん、お姉さんに。中学生をリードし、2泊3日の成果をひとつの宣言文にまとめあげました。

### 『自然は大切』

～自然せつ～

接 (自然に接する、自然の接し方を考える)

設 (自然を設ける)

切 (自然を大切に)

節 (電気や木の使用を節約する)

態 (生態系をくずさない)

説 (自然に関心をもち説明できるようにする)

以上を実現しよう。



## ヤマ学校キャンプ参加者アンケートより

他校との交流や班での協力助け合いで楽しく感じれたし、自分の中での自然についての考え方が変わって、これからも身近なやんばるの自然を大切に、将来自分が大人になって次の子供にたくすことができたらいいなと思いました。(国頭中)

ヤンバルクイナなど貴重な動物も見れたので僕達もこれから自然を大切に、やんばるの森を世界遺産に登録できるようにして、世界からは「世界のやんばる」という名で沖縄県を世界中に広げていきたいです！(大宜味中)

中学生の素直さと、元気さと、頭の柔らかさに感動した！中学生からも色々教えてもらった。自分が理解していないと、人に教えられない。地元の自然ってすごい！(辺土名高)

“やんばる愛”育む

ヤマ学校  
キャンプ  
3村中高生が交流

国頭

【国頭】生まれ育ったやんばるへの愛着を深めながら、中高生の交流を深める。自然との接し方を考える。①接(自然に接する)②設(自然を設ける)③切(自然を大切に)④節(電気や木の使用を節約する)⑤態(生態系をくずさない)⑥説(自然に関心をもち説明できるようにする)

【国頭】生まれ育ったやんばるへの愛着を深めながら、中高生の交流を深める。自然との接し方を考える。①接(自然に接する)②設(自然を設ける)③切(自然を大切に)④節(電気や木の使用を節約する)⑤態(生態系をくずさない)⑥説(自然に関心をもち説明できるようにする)

【国頭】生まれ育ったやんばるへの愛着を深めながら、中高生の交流を深める。自然との接し方を考える。①接(自然に接する)②設(自然を設ける)③切(自然を大切に)④節(電気や木の使用を節約する)⑤態(生態系をくずさない)⑥説(自然に関心をもち説明できるようにする)

【国頭】生まれ育ったやんばるへの愛着を深めながら、中高生の交流を深める。自然との接し方を考える。①接(自然に接する)②設(自然を設ける)③切(自然を大切に)④節(電気や木の使用を節約する)⑤態(生態系をくずさない)⑥説(自然に関心をもち説明できるようにする)